



記紀編さん1300年 日向神話の地めぐり

2012年は古事記編さんから1300年、また、きたる2020年には日本書紀編さん1300年を迎えます。日本の国の起こうを記したこの二つの歴史書。特に古事記の上巻には、日向国を舞台にしたさまざまな物語が描かれています。夏休みに親子で、また涼を求めて、ゆかりの地をめぐってみませんか。

アマテラスの岩戸隠れ

悪さばかりしている弟神・スサノオに怒ったアマテラスは、天の岩屋に隠れてしまします。太陽神を失った世の中は真っ暗に。そこで八百万神が相談。岩屋の前で宴を開き、面白おかしいアメノウズメの舞にアマテラスが顔をのぞかせた隙に、タチカラオが岩戸を開け放って世界は光を取り戻しました。

ニニギとコノハナのロマンス

西都市にある逢初川で出会ったとされる天孫ニニギノミコトとコノハナサクヤヒメ。二人はたちまち恋におち、ここから日向三代の物語が始まります。一夜の契りで身ごもったことをミコトから疑われたヒメは、潔白を証明するために産屋に火を放ち、炎の中で三皇子を産みます。

問合せ=西都市観光協会 0983-41-1557

天安河原

八百万神が相談したといふ天安河原へは、天岩戸神社西本宮から緑に包まれた遊歩道を歩いて行きます。多くの観光客が訪れるパワースポットです。

問合せ=高千穂町観光協会
0982-73-1213

記紀の道

ニニギとコノハナが初めて出会った「逢初川」や、ヒメが三皇子を生んだ「無戸室」、産湯に使った「児湯の池」など観光ルートとなっています。



都萬神社



無戸室



スポーツ選手も多く訪れる青島神社

青島神社

山幸彦とその妃であり海神の娘・トヨタマを祀る神社。境内には、ろう人形で海幸山幸物語を辿る「日向神話館」もあります。

問合せ=青島神社 0985-65-1262



神々の物語をたどることのできる「日向神話館」

海幸山幸物語

ニニギノミコトとコノハナサクヤヒメの間に生まれた皇子。海幸彦と山幸彦は、あるとき互いの道具を取り替えます。ところが山幸彦は兄が大事にしていた釣り針をなくしてしまい、海神の国へと探しに行きます。そこで海神への娘・トヨタマヒメと結ばれます。山幸彦の物語は、浦島太郎伝説につながります。